

平成18年度 一般会計補正予算(第1号)の概要

(単位:千円)			
補正前の額		19,850,000	
補正額		321,000	
補正後予算額		20,171,000	
(前年度同期 21,500,000 と比べて 6.2 % 1,329,000 の減少)			

《主な内容》

歳 入

・市税

固定資産税等 (土地に係る負担調整措置の改正等)	137,500
--------------------------	---------

・地方交付税

普通交付税 (交付額決定に伴う更正)	82,068
--------------------	--------

・国庫支出金

まちづくり交付金等 (交付額変更決定に伴う更正)	240,655
--------------------------	---------

・繰越金

前年度繰越金等	80,395
---------	--------

・市債

まちづくり交付金事業債等	127,600
--------------	---------

歳 出

・総務費

同志社大学との連携推進事業 (地学連携推進費)	420
-------------------------	-----

・同志社大学との連携推進事業の一環として、同大学の教授が多く所属する「NPO 法人経済知力フォーラム」との共催により、本市の中学生が経済の仕組みについて考える契機となるような特別講義をモデル的に実施するもの。

財政調整基金積立金 (財政管理費)

40,200

・地方財政法第7条の規定に基づき、平成17年度決算剩余金(繰越金)の2分の1を下らない額を財政調整基金に積み立てるもの。

・民生費

障害者自立支援法関係費 (自立支援給付費、地域生活支援事業費等)

29,000

・平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、この10月より新しいサービス体系に移行するにあたり、制度移行に伴う予算の組み替えを行うとともに、新たに実施されるサービスに係る経費、制度移行に伴い利用増が見込まれる経費、低所得者に対する支援費などを計上するもの。

・農林水産業費

農地・水・環境保全対策交付金事業 (農業構造改善事業費)

1,300

・農林水産省が、地域ぐるみで農地や水を守る効果の高い共同活動や環境保全に向けた営農活動を支援する施策を平成19年度から本格的に導入するにあたって、そのモデル事業となる取り組みを本市内において実施するもの。

・教育費

豊かな体験活動推進事業 (小中学校 管理運営費及び教育助成費)

3,600

・本市の小中学校が、京都府教育委員会より「豊かな体験活動推進校」の指定を受けたことにより、平成18・19年度の2か年で、学校・家庭・地域が一体となって、こどもたちが豊かな人間性や社会性を育むための先進的な体験活動を推進するもの。

小学校・幼稚園下水道接続事業 (小学校・幼稚園 施設整備費)

44,394

・三山木小学校、薪小学校及び薪幼稚園において、公共下水道接続工事を実施するもの。

債務負担行為

地域安全施設整備事業用地購入事業

13,000

・学研都市京都土地開発公社が代位弁済する地域安全施設整備事業用地購入資金に係る元金、利子及び事務費相当額に対する債務負担行為